



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月4日

上場会社名 京王電鉄株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9008 URL http://www.keio.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永田 正
 問合せ先責任者 (役職名) 総合企画本部経理部 経理担当課長 (氏名) 木村 創 (TEL) 042-337-3135
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	303,094	2.4	29,169	13.3	27,128	16.4	16,906	18.0
25年3月期第3四半期	295,889	1.7	25,743	△4.7	23,296	△6.0	14,327	8.9

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 22,090百万円(37.1%) 25年3月期第3四半期 16,111百万円(54.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	27.68	—
25年3月期第3四半期	23.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	766,726	295,592	38.5
25年3月期	793,293	278,834	35.1

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 295,406百万円 25年3月期 278,677百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	5.00	8.00
26年3月期	—	3.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 25年3月期期末配当金の内訳 記念配当 1円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	405,300	2.1	31,400	12.1	28,800	17.4	16,000	8.5	26.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
詳細は、【添付資料】7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期3Q	642,754,152株	25年3月期	642,754,152株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	32,110,163株	25年3月期	31,913,132株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期3Q	610,723,160株	25年3月期3Q	610,970,613株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、【添付資料】6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	7
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の業績全般

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
連結営業収益	295,889	303,094	7,204	2.4	396,860
連結営業利益	25,743	29,169	3,426	13.3	28,022
連結経常利益	23,296	27,128	3,832	16.4	24,538
連結四半期(当期)純利益	14,327	16,906	2,579	18.0	14,748
連結E B I T D A	51,512	54,488	2,976	5.8	63,032
連結減価償却費	25,465	25,015	△450	△1.8	34,605

(注) 連結E B I T D Aは、連結営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)におけるわが国経済は、円安による輸出環境の改善や景気対策、金融政策の効果などを背景に、一部に雇用情勢の改善や個人消費の持ち直しなど、緩やかな回復の傾向が見られますが、日常的な消費にまでは波及しきれておらず、また、原油高による動力費の増加や原材料価格の高騰などの懸念材料もあり、楽観視できない状況にあります。

このような情勢のもとで、当社グループは、平成22年度を初年度とする「京王グループ中期5カ年経営計画」に基づき、公共輸送機関として欠かすことのできない安全性の向上や沿線の活性化を推進するとともに、「コスト構造の転換」と「財務体質の強化」を重視し、最終年度である平成26年度の目標達成に向けた施策を着実に実行しております。

その結果、連結営業収益は、流通業を除く各セグメントで増収となり3,030億9千4百万円(前年同期比2.4%増)、連結営業利益は、流通業を除く各セグメントで増益となったことから291億6千9百万円(前年同期比13.3%増)となりました。連結経常利益は271億2千8百万円(前年同期比16.4%増)、連結四半期純利益は、169億6百万円(前年同期比18.0%増)となりました。

なお、連結E B I T D Aは、544億8千8百万円(前年同期比5.8%増)となりました。

また、連結減価償却費は、250億1千5百万円(前年同期比1.8%減)となりました。

②当第3四半期連結累計期間の各セグメント別の概況

(単位：百万円)

	営業収益			営業利益又は損失(△)		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減率
			%			%
運輸業	94,842	95,324	0.5	9,815	11,721	19.4
流通業	122,389	121,745	△0.5	4,887	4,582	△6.2
不動産業	22,043	25,599	16.1	7,236	8,130	12.4
レジャー・サービス業	49,197	50,930	3.5	3,938	4,476	13.7
その他業	29,415	32,479	10.4	△27	265	—
計	317,888	326,078	2.6	25,850	29,176	12.9
連結修正	△21,999	△22,984	—	△107	△7	—
連結	295,889	303,094	2.4	25,743	29,169	13.3

(運 輸 業)

鉄道事業では、旅客運輸収入は前第3四半期連結累計期間に比べ0.1%減（うち定期0.5%増、定期外0.5%減）となりました。バス事業では、路線・高速で増収となりました。これらの結果、営業収益は953億2千4百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は鉄道事業において、昨年度実施した調布駅付近連続立体交差事業の地下線への切替えにともなう固定資産除却費の減少などにより、117億2千1百万円（前年同期比19.4%増）となりました。

(流 通 業)

百貨店業およびストア業では、景気回復を受けて個人消費が堅調に推移したことにより増収となりました。書籍販売業や駅売店業などでは既存店の売上低迷などにより減収となりました。これらの結果、営業収益は1,217億4千5百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は45億8千2百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

(不 動 産 業)

不動産賃貸業では、昨年度に取得した賃貸マンションが通期稼動したことなどにより増収となりました。また、不動産販売業では、株式会社リビタの販売戸数が増加したことなどにより増収となりました。これらの結果、営業収益は255億9千9百万円（前年同期比16.1%増）、営業利益は81億3千万円（前年同期比12.4%増）となりました。

(レジャー・サービス業)

ホテル業では、「京王プラザホテル」で外国人個人客の取り込み等による客室単価増に加え、客室稼働率が好調に推移したことにより、増収となりました。また、広告代理業では、既存顧客からの受注額の増加や大型案件の受注などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は509億3千万円（前年同期比3.5%増）、営業利益は44億7千6百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

(そ の 他 業)

ビル総合管理業や建築・土木業では、完成工事高の増加などにより増収となりました。これらの結果、営業収益は324億7千9百万円（前年同期比10.4%増）、営業利益は2億6千5百万円となりました。

[鉄道事業輸送人員と旅客運輸収入]

			前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比(%)
輸送人員	定期	千人	274,890	275,889	0.4
	定期外	〃	199,661	197,864	△0.9
	計	〃	474,551	473,753	△0.2
旅客運輸収入	定期	百万円	24,805	24,927	0.5
	定期外	〃	33,829	33,643	△0.5
	計	〃	58,634	58,570	△0.1

[業種別営業収益]

(単位：百万円)

	業種別	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	前年同期比 (%)	(参考) 前連結会計年度
運輸業	鉄道事業	60,960	61,075	0.2	80,974
	バス事業	25,181	25,871	2.7	33,060
	タクシー業	9,957	9,780	△1.8	13,132
	その他	1,937	1,981	2.3	2,464
	消去	△3,193	△3,384	—	△4,332
	営業収益	94,842	95,324	0.5	125,300
	営業利益又は損失(△)	9,815	11,721	19.4	8,852
流通業	百貨店業	68,452	68,490	0.1	90,680
	ストア業	27,798	27,968	0.6	36,482
	書籍販売業	7,836	7,483	△4.5	10,368
	駅売店業	6,567	6,196	△5.6	8,430
	ショッピングセンター事業	8,002	7,943	△0.7	10,530
	その他	8,657	8,593	△0.7	11,537
	消去	△4,925	△4,931	—	△6,594
	営業収益	122,389	121,745	△0.5	161,434
	営業利益又は損失(△)	4,887	4,582	△6.2	5,327
不動産業	不動産賃貸業	21,912	22,573	3.0	29,380
	不動産販売業	5,222	8,438	61.6	9,868
	その他	840	757	△9.9	1,178
	消去	△5,932	△6,170	—	△8,803
	営業収益	22,043	25,599	16.1	31,624
	営業利益又は損失(△)	7,236	8,130	12.4	9,283
レジャー・サービス業	ホテル業	31,601	33,125	4.8	42,187
	旅行業	12,971	12,854	△0.9	16,660
	広告代理業	7,053	7,541	6.9	10,420
	その他	4,719	4,641	△1.7	5,991
	消去	△7,148	△7,232	—	△9,593
	営業収益	49,197	50,930	3.5	65,665
	営業利益又は損失(△)	3,938	4,476	13.7	4,075
その他業	ビル総合管理業	13,900	14,598	5.0	21,275
	車両整備業	5,488	4,833	△11.9	8,641
	建築・土木業	7,518	10,325	37.3	16,389
	その他	3,964	4,354	9.8	5,724
	消去	△1,456	△1,631	—	△2,340
	営業収益	29,415	32,479	10.4	49,690
	営業利益又は損失(△)	△27	265	—	1,024

(2) 財政状態に関する説明

(単位：百万円)

	前連結会計年度	当第3四半期 連結会計期間	増減額
総資産	793,293	766,726	△26,567
負債	514,459	471,134	△43,325
純資産	278,834	295,592	16,758
負債及び純資産	793,293	766,726	△26,567
有利子負債	356,366	322,717	△33,649

(注)有利子負債は、借入金 + 社債 + 鉄道建設・運輸施設整備支援機構未払金により算出しております。

当第3四半期連結会計期間の総資産は、短期資金運用を目的とした譲渡性預金の減少や現金及び預金の減少などにより265億6千7百万円減少し7,667億2千6百万円となりました。

負債は、第23回無担保割引社債等の償還や工事代金の支払いなどにより433億2千5百万円減少し4,711億3千4百万円となりました。

純資産は、連結四半期純利益の計上などにより167億5千8百万円増加し2,955億9千2百万円となりました。

なお、当第3四半期連結会計期間の有利子負債は3,227億1千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(単位：億円)

	当連結会計年度 (予想) 【前回公表値】	当連結会計年度 (予想)	対前回公表値 増減率	(参考) 対前期増減率
連結営業収益	4,046	4,053	0.2%	2.1%
連結営業利益	296	314	6.1	12.1
連結経常利益	260	288	10.8	17.4
連結当期純利益	158	160	1.3	8.5
連結E B I T D A	646	656	1.6	4.1
連結減価償却費	345	338	△2.1	△2.3

(注) 1. 前回公表値は平成25年4月30日公表の当期の業績予想であります。

2. 連結E B I T D Aは、連結営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額により算出しております。

(単位：億円)

	営業収益			営業利益		
	当連結会計年度 (予想)	対前回公表値 増減率	(参考) 対前期増減率	当連結会計年度 (予想)	対前回公表値 増減率	(参考) 対前期増減率
運輸業	1,261	0.2%	0.7%	109	8.5%	24.2%
流通業	1,613	0.9	△0.1	46	3.6	△13.2
不動産業	354	△5.1	12.0	103	△3.5	11.4
レジャー・サービス業	672	0.1	2.5	43	15.3	7.5
その他業	526	7.1	6.0	12	75.2	25.3
計	4,428	0.7	2.1	316	6.0	10.7
連結修正	△375	-	-	△2	-	-
連結	4,053	0.2	2.1	314	6.1	12.1

最近の業績動向および当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ、当連結会計年度の連結業績予想について、平成25年4月30日公表の予想（前回公表値）を以下に記載のとおり修正しております。

連結営業収益は4,053億円（前回公表値比0.2%増）を見込んでおります。セグメント別に見ますと、運輸業はバス事業の増収などにより1,261億円（前回公表値比0.2%増）、流通業は百貨店業やストア業の増収などにより1,613億円（前回公表値比0.9%増）、不動産業は不動産販売業で販売戸数の減などにより354億円（前回公表値比5.1%減）、レジャー・サービス業はホテル業で客室単価や客室稼働率の向上にともなう増収などにより672億円（前回公表値比0.1%増）、その他業はビル総合管理業や建築・土木業で受注増などにより526億円（前回公表値比7.1%増）を見込んでおります。

利益面では、連結営業利益は鉄道事業における費用の減やホテル業における増収等により314億円（前回公表値比6.1%増）、連結経常利益は288億円（前回公表値比10.8%増）、連結当期純利益は160億円（前回公表値比1.3%増）を見込んでおります。

なお、連結E B I T D Aは656億円（前回公表値比1.6%増）を見込んでおります。

(注) 連結業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

1. 税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	48,315	36,350
受取手形及び売掛金	32,204	29,700
有価証券	35,550	22,503
商品及び製品	14,682	14,238
仕掛品	7,574	9,856
原材料及び貯蔵品	1,590	1,755
その他	7,708	8,463
貸倒引当金	△94	△98
流動資産合計	147,530	122,770
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	305,351	303,139
土地	175,153	178,145
建設仮勘定	38,866	32,090
その他(純額)	45,192	41,331
有形固定資産合計	564,563	554,706
無形固定資産		
投資その他の資産	10,745	9,493
投資有価証券	54,571	62,693
その他	16,169	17,348
貸倒引当金	△286	△285
投資その他の資産合計	70,453	79,756
固定資産合計	645,763	643,956
資産合計	793,293	766,726

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,189	16,109
短期借入金	60,612	63,776
1年内償還予定の社債	30,000	10,000
未払法人税等	2,765	6,865
引当金	4,493	4,312
その他	80,338	63,997
流動負債合計	195,399	165,060
固定負債		
社債	129,411	119,558
長期借入金	136,066	129,172
退職給付引当金	20,961	20,787
その他	32,621	36,554
固定負債合計	319,060	306,073
負債合計	514,459	471,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	59,023	59,023
資本剰余金	42,008	42,008
利益剰余金	186,342	198,057
自己株式	△19,279	△19,420
株主資本合計	268,095	279,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,580	15,729
為替換算調整勘定	1	6
その他の包括利益累計額合計	10,581	15,735
少数株主持分	156	186
純資産合計	278,834	295,592
負債純資産合計	793,293	766,726

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	295,889	303,094
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	235,741	239,874
販売費及び一般管理費	34,405	34,050
営業費合計	270,146	273,925
営業利益	25,743	29,169
営業外収益		
受取利息	61	54
受取配当金	833	1,020
匿名組合投資利益	364	274
持分法による投資利益	99	69
雑収入	657	454
営業外収益合計	2,016	1,874
営業外費用		
支払利息	4,239	3,764
雑支出	223	149
営業外費用合計	4,462	3,914
経常利益	23,296	27,128
特別利益		
工事負担金等受入額	29,580	6,004
その他	174	303
特別利益合計	29,755	6,307
特別損失		
固定資産圧縮損	29,580	6,025
固定資産除却損	339	478
その他	222	285
特別損失合計	30,142	6,789
税金等調整前四半期純利益	22,909	26,646
法人税等	8,573	9,710
少数株主損益調整前四半期純利益	14,335	16,936
少数株主利益	8	29
四半期純利益	14,327	16,906

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	14,335	16,936
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,775	5,149
持分法適用会社に対する持分相当額	0	4
その他の包括利益合計	1,775	5,153
四半期包括利益	16,111	22,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,102	22,060
少数株主に係る四半期包括利益	8	29

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益	94,842	122,389	22,043	49,197	29,415	317,888	△21,999	295,889
セグメント利益 又は損失 (△)	9,815	4,887	7,236	3,938	△27	25,850	△107	25,743

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	運輸業	流通業	不動産業	レジャー・サービス業	その他業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
営業収益	95,324	121,745	25,599	50,930	32,479	326,078	△22,984	303,094
セグメント利益	11,721	4,582	8,130	4,476	265	29,176	△7	29,169

(注) 1 セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去額です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。